



大分市

# 交流 Communication

インフラ整備が進み、人が集まる基盤が整ってきた大分市中心市街地。そこを舞台にさまざまな活動を開催している若手リーダー4人が集まり、それぞれの取り組みを共有しながら街の魅力について語り合った。市民一人一人が自分の興味に従ってやりたいことをやっていく。そこから生まれる新たな交流が多様な面白さを生み、街の魅力をどんどん増していく。



ぐやりたい。大分といえば鳥天やりゅうきゅうばかりで、しかも鶏は宮崎産だったりブラジル産だったりする。県外から人を呼んでも宮崎産の鶏を使っていたらおかしいでしょう。先日、佐賀関でチーズを作っている生産者を呼んで勉強会を開き、各店でそのチーズを使った料理を出した。そういうことを積み重ねていけば、県外からも、そういう料理を目指して人が来てくれるようになるかもしれない。ちょっとだけ料理の組み立て方のロジックを変え、大分を盛り上げてきました。

## 選択肢がたくさんある

直野 街を語るときに多様性という言葉があります。

武田 人は多様で、同じ人でもライフステージによって時間の過ごし方が違ってくる。経済的な数字で豊かさを測るのではなく、一人一人の趣味や生き方が幸せであればそれでいいと思います。そう考えると大分には選択肢がたくさんあります。

直野 皆さんのイベントも多様ですね。

たなか ただ、先鋭的になりすぎて「こういう人じゃないと来られません」というものにはしたくないので、門口は広げておきます。人口が多い所ならコアなことで赤字にならないようにできるけど、50万、40万人規模の所でそういうやり方を探すと採算が取れるか怪しい。

梯 食ラボには、若い、子ども連れ、お年寄りなどいろんな人に来てほしい。多様性には頭を悩ませられます。「地産消費なんてどうでもいい、安い方がいい」という人もいる、「変わった物がいい」「オーガニックじゃないと駄目だ」という人もいるし、「地元の物がいい」という人もいる。そこを工夫しながら、いろんな人に「こんな食材や料理があるよ、おいしいでしょ」と伝えて、それを知ってもらえたなら勝ちつかない。

緒方 2月にコスプレと仮装のパレード、コンテストを企画しました。最近ハロウィンなどで顕在化しつつある、コスプレを楽しむ層にアプローチできないかと考えたんです。一般の人も来やすいやう、ステージイベントも「すごい人たちだけが集まって盛り上がりがっている」とならないよう組み立てています。難いけど、多様性に多少なりとも対応できればと思います。

## 結果的に人とつながる

武田 ビジネスを考えたとき、ある程度の需要がないと大きなことはできません。でも他の人と助け合って、本来なら買わないといけない物を買わずに済んだり、行政と連携

してお金を出し合つたり、最初は小さく始めて徐々にいろんな人の助けが増えて大きしていくということを、皆さんやっています。

たなか 「これ受けたかな」というものを大分の街なかでやるとき、あるスペースを借りるのに1日5千円で済めばチャレンジやすい。これが5万円となると小さなチャレンジがしくなります。コストの面がまず抑えられるから継続でき、次に展開できます。大分ぐらの規模の都市だからできることです。

直野 民間との連携ですね。

緒方 夢色音楽祭はあらゆる職種の人方が集まって実行委員会をつくって、音楽関係者だけなら出てこないようなアイデアも飛び出します。役所がつくる実行委員会は承認機関に近いものが多いけど、夢色音楽祭は実行委員会の中で内容を組み立てる珍しいタイプで、うまくいっています。

直野 食ラボではどう大分を意識していますか。

梯 地元の材料をピックアップし、みんなと一緒に使って物流を回していくところから大分っぽいところですが。

直野 生活しやすく、瞬発力がある人がいる

業種交流会みたいになって、今まで交流していない人がつながっている。自分がしたいことや、文化振興や劇場のホールマネジメントという自分の使命が、結果的にイベントになっています。

## 交わって物が良くなる

直野 交流ありきじゃなく、まずは提供したいものがあるんですね。

たなか 「こういうの面白いよね」「きれいだね」と共感してくれた人と話が弾んでいきます。交流は後から出でます。

八坂 自分がやりたいことのベースがちゃんと伝わったというところに意義があります。

梯 つながることはすごく面白い。材料と知り合って初めて思い付いた料理とか、お客様からクレームをもらって改良して良くなった料理とか。人が交わってどんどん物が良くなっています。

八坂 やりながら自分が気付いていくんですよね、「こういうふうになるか」と。

武田 人が集まつくると一人じゃできないことができるようになります。進化していく魅力を皆さん感じているんだと思います。

八坂 もも続けるのは苦しい。楽しくないことが起きるとくじけうになります。

武田 続けるということを分析してみると、うまくいっているところには必ずキーパーソンがいます。でもみんな年を取る。実務を次の世代に任せていくとか、後継者が育つようにしないと10年単位で続けていくのは難しいでしょう。

緒方 夢色音楽祭は途中でメンバーがガラッと変わった年があり、その時に音楽祭の進め方そのものを検討し直しました。今年9回目で、今は10回を目指して頑張ろうというのが一つの全体方針になっています。次の10年に向けてどうするかを今年、来年で考えないといけません。見る人も見る人も楽しみに思ってくれているので、そう思ってもらえる間は秋の風物詩として続けたいですね。

たなか 「上野の森アートフェスティバル」は去年が最後でした。僕の絵が先生が代表で、「やめます」と言ってやめたんです。やる人の熱量でもっているものが終わるを迎えるのは仕方ない。それを形だけ引き継ごうすると、元々の思いと離れます。生き物の新陳代謝と一緒に、やめたら、それに近いことをやりたいと思っている次の世代が出てくる。イベントなどが終わりを迎えるのは次の世代が生まれる種になります。

## ハードとソフトが融合

武田 イベントをするとき、観光的視点で考えられる人が周囲に入ると外からも需要を集められます。例えば行政の観光担当が交わって、外から来る人を念頭に受け入れ態勢で少し配慮するだけでも、来た人にとっては「優しい街」となります。

緒方 市外のお客さんを呼ぶことはどの事業のイベントも考えていて、そういう取り組みが必要になるでしょう。観光パンフレットに宿泊先リストと一緒に挙んでおくのも一つの手ですね。

武田 大分市はハードとソフトの二つの魅力がちょうどいいバランスで実現されている街だと思います。

直野 都市機能のハードと、その中でわれわれが作り上げるソフト。片方だけじゃ駄目で、都市のインフラを使ってどれだけわれわれが遊べるか、楽しめるかですね。

## 行けば新しいものある

直野 人だけでなく物や文化など全ての出会いを交流とし、街を交流のステージと位置付けて話を進めていきましょう。まずは自己紹介から。皆さんにとって街はどういう所ですか。

たなか グラフィックデザイナーをしていて、街なかで印刷物などに関わるワークショップを開いています。祖父が街なかでかばん屋をしていましたので、自分にとって街は遊び場であり育った場所ですか。

緒方 大分市文化国際課で「おおいた夢色音楽祭」を担当しています。街には楽しい所、ワクワクする所、行ったら新しいものがあるというイメージがあります。

八坂 NPO法人でクラシックコンサートの企画や主催をしています。劇場のホールマネジメントを勉強し、今はコンパルホールを中心に、「ぶんご・ふない座」で府内町の商店街の人たちと芝居をしています。街の人たちと関わることが多く、街の人たちの瞬発力やテンションが他とは全然違う感じです。



若手リーダー  
オットー・エ・セッテ大分  
梯哲哉さん

論するのも仕事。これまで国内外の各地を泊まり歩きましたが、大分市ぐらいの人口規模の街が世界で一番住みやすい。街にはハードとソフトがあります。大分市のハードについては昨年大分駅ビルができ、東九州自動車道が開通して交通の範囲が広がっています。ソフトには駅前とつながる歴史や文化と、今、皆さんがそれぞれのテーマで活躍している活動があり、一つ一つが魅力で、その融合が都市の魅力になっています。

### 関西と同じ乗りの良さ

直野 「大分はこれだ」という、大分らしさについて考えてみましょう。

緒方 個人的には住みやすいサイズの街だと思います。便利だと自然はあるし食べ物はおいしい。どこに行くにしても距離感がない。

八坂 大きさが程よくて、誰かに会いたいと思ったときに会いに行きやすい街です。大分らしさはたぶん生活しやすいところ、コンサートを企画して音楽家を連れてくる仕事もしやすいです。

梯 コンサート会場も美術館も近く、お城があつて、文化的度合いが高い。商売をするにも面白そうだなという感じがあります。

八坂 私は劇場ありきなので街なかで活動しています。大分市は街なかにコンバールホールやホルトホール大分、いわゆる複合文化センター、県立美術館がありますが、そこには関西の人を通じて乗る乗りの良さがあります。「こういうことをやろう」と一つ投げ掛けたことに對してアクションが早い。「それならここに何がある」「これを使つたら」と、自分が想定していた範囲よりもいつ間にか規模が大きくなるという、うれしい誤算があります。

八坂 私は劇場ありきなので街なかで活動しています。大分市は街なかにコンバールホールやホルトホール大分、いわゆる複合文化センター、県立美術館がありますが、そこには関西の人を通じて乗る乗りの良さがあります。「これに乗つたら」と、自分が想定していた範囲よりもいつ間にか規模が大きくなるという、うれしい誤算があります。

梯 確かに乗ってくれる人もいるけれど、「今的生活を崩してくれるな」という人もいます。いろいろ考えています。街には何かキラキラするものがないといけないと思っていて、そのキラキラのキラになるくらいの店にていきたい。それが連鎖して、街がキラキラしていけばいい。京都のキラキラ度合いが大分県の元気や活力のバロメーターになります。

武田 日本政策投資銀行は街のインフラについて調査し、皆さんと一緒に街づくりについて議



若手リーダー  
NPO法人denk-pause代表  
八坂千景さん

ていくのが難しい。制限しきりすると音楽のジャンルが狭まるし、やる側には自分が好きな音楽をやりたいという思いがあるのです。

梯 食ラボのイベントを街なかのビルの屋上でやっていますが、それは街なかが人の交差する所だから。そのうち街の外でもやりたいけれど、まずは中心を盛り上げてください。

### 会いに行き着きやすい

直野 「大分はこれだ」という、大分らしさについて考えてみましょう。



若手リーダー  
大分市文化国際課  
文化企画担当班リーダー  
緒方賢一郎さん

梯 今やっているというのは最低条件。それ以上に、「大分でもこんなことができるのか」ということをやっていかないと。東京や福岡のイベントをそのまま持つて

きただの大分らしさを生かして、出会いを広げ、仲間を増やしていくにはどうすればいいでしょうか。

たなか 本人たちが楽しんでやっているというのは最低条件。それ以上に、「大分でもこんなことができるのか」ということをやつけていかないと。東京や福岡のイベントをそのまま持つて

きたのでは「ハクリヤン」と言われるだけ面白いと思つてももらえません。大分の会社や大分の食材などでアレンジして大分の風土に合せたものにすると、協力してくれる人も増えます。昨年、大分の印刷関連の会社さんと地場のデザイナーとで「版フェス」というイベントをやりました。

直野 自然共生的なイベントですね。おおいたトイトレーナーレーもそだつたんです。

八坂 トイトレーナーレーは市がアートを生かした街づくりを考えてスタートしたもの。市職員が街の人に意見を聞いたり、「アートなんか分からん」「それより人が来たときにトイレがきれいな方がいい」という反応が出て、トイレをきれいなアート作品化していました。街の人意見を聞いたりは良かったと思います。市と実行委員会だけじゃなく、「街に人が来てもいい」という気持ちを街のみんなが持てました。

直野 民間との連携ですね。

緒方 夢色音楽祭はあらゆる職種の人方が集まって実行委員会をつくって、音楽関係者だけなら出てこないようなアイデアも飛び出します。役所がつくる実行委員会は承認機関に近いものが多いけど、夢色音楽祭は実行委員会の中で内容を組み立てる珍しいタイプで、うまくいっています。

直野 食ラボではどう大分を意識していますか。

梯 地元の材料をピックアップし、みんなと一緒に使って物流を回していくところから大分っぽいところですが。

直野 生活しやすく、瞬発力がある人がいる

### 地元食材で物流回す

直野 生活しやすく、瞬発力がある人がいる

主な販売場所

・株式会社大分フットボールクラブ  
・大分トリニータ公式ホームページ  
・グラブトリニータ  
・チケットぴあSPOT(ichikohリモート合意センター)

10回まで分割払手数料が無料

※指定席は応募多数の場合、先着順で販売されます。

シーケンスバスに関するお問い合わせ

株式会社大分フットボールクラブ TEL.097-554-2250

営業時間 9:00~18:00(平日)

OITA F.C.

**明治安田生命 J3 LEAGUE  
大分トリニータ  
シーズンパス2016  
あす19日まで  
発売中!**

**Challenge**

**桃 獣**

**主な販売場所**

- ・株式会社大分フットボールクラブ
- ・大分トリニータ公式ホームページ
- ・グラブトリニータ
- ・チケットぴあSPOT(ichikohリモート合意センター)

10回まで分割払手数料が無料

※指定席は応募多数の場合、先着順で販売されます。  
※回数券は引き替えさせずにつきそのままご入場いただけます。  
※ロイヤルシート各種、SS指定席(西駐車券付)、回数券は前売販売はございません。  
※試合によって座席割が変更になる場合がございます。

**2016明治安田生命J3リーグ  
ホームゲーム全15試合**

※天皇杯、J2・J3入れ替え戦の試合は含まれておりません。

**シーズンパス限定スペシャル特典**

2016シーズンパスをお申し込みの方に素敵な特典をプレゼント!

<b>特典1</b> 2016シーズン ユニフォーム型バッグ	<b>特典2</b> オリジナル シーズンパスケース	<b>特典3</b> 一般チケットより 30分早い優先入場 <small>※優先入場時間は変更になる場合がございます。</small>
<b>特典4</b> スペシャル イベント開催 <small>※回数券購入者限定</small>	<b>特典5</b> トリニータシート御招待券 <small>一般購入者は1枚、 小中高購入者は1枚となります。</small>	<b>特典6</b> 当日割引券5枚 <small>一般購入者は1,000円OFF、小中高購入者は300円OFFチケットとなります。</small>
<b>特典7</b> ホームゲーム 優先入場券5枚	<b>特典8</b> 年間西駐車券 <small>※一般席1席につき、1枚限りとさせていただきます。</small>	<b>特典9</b> シーズンパス継続割引システム <small>継続すればするほど割引率が大きくなります。</small>

**前売り料金と  
座席割が変更に  
なりました。**

**座席種類**

摘要	前売料金 [1試合あたり]	基本料金 [前売り×15試合]	新規販売価格
ロイヤルシート (地下駐車券付)	13,500円 <sub>税込</sub>	202,500円 <sub>税込</sub>	151,900円 <sub>税込</sub>
ロイヤルシート (西駐車券付)	12,500円 <sub>税込</sub>	187,500円 <sub>税込</sub>	140,700円 <sub>税込</sub>
ロイヤルシート 全席指定	11,000円 <sub>税込</sub>	165,000円 <sub>税込</sub>	123,8